

マイクロロボティクスとバイオの融合シンポジウム － マルチモーダル刺激応答計測が拓く 生体の時空間階層構造ダイナミクス －

日時 平成29年10月11日13時-16時

場所 東京大学生産技術研究所

An棟2階コンベンションホール

プログラム

- 13:00 バイオ研究開発に貢献するマイクロロボティクス
電気通信大学客員教授・大阪大学名誉教授 新井健生
- 13:20 バイオセルマニピュレーション
名城大学教授・名古屋大学名誉教授 福田敏男
- 13:40 マイクロロボティクスを基盤とした少数細胞の
操作・計測・制御
大阪大学助教 小嶋 勝
- 14:00 【特別講演】非平衡開放系としての生命
－臨床へとつながる医学物理学の開拓－
ハイデルベルグ大学教授・京都大学教授 田中 求
- 14:40 休憩
- 14:50 疾患iPS由来細胞シートの刺激応答計測が拓く
基底膜と細胞外マトリックスの組織形成・組織
機能発現における役割と疾病メカニズムの解明
東京女子医科大学教授 大和雅之
- 15:10 線虫をモデルとした行動の時空間階層的制御
機構の解析
東京女子医科大学教授 三谷昌平
- 15:30 In vitro組織モデルによる生体微小環境のみえる化
東京大学准教授 松永行子
- 15:50 総合討論